

令和6年度「NIFS 卒業研究コンテスト」実施要項

〔令和6年8月23日
教務委員会決定〕

一部改正 令和7年2月6日

学部教育における学修成果の集大成の一つである卒業研究に対する学生の主体的な取り組みを促すとともに、学生の資質・能力をさらに伸ばし、本学の目指す A.C.E. KANOYA【活気ある (Active) 独創的な (Creative) 精鋭 (Elites)】の育成に資することを目的として、特に優秀な卒業研究を行った学生による卒業研究コンテストを実施する。

I. 募集時期

令和6年10月～12月

II. 参加者の選抜方法

参加者の選抜方法は指導教員からの推薦によるものとする。指導教員は、特に優れた卒業研究に取り組む学生を2名まで推薦できることとする。被推薦者が多数に上る場合には、中間発表の資料等を基に参加者の選考を行う場合がある。

なお、指導学生の推薦にあたっては、事前に学生本人からの了承を得ることとする。

III. 開催時期

令和7年1月中旬～2月上旬

IV. 開催方法

卒業研究コンテストは、参加者の卒業研究発表を録画した動画の視聴により行う。

V. 審査

卒業研究コンテストの審査は、教務委員会が選出する審査員により行う。ただし、審査員から推薦のあった参加者については、推薦した審査員は当該参加者を審査しない。

なお、卒業研究コンテストの審査に当たっては、鹿屋体育大学「卒業研究」における点検指針ルーブリックにおける点検項目（「学位論文等の構成・体裁の適切性」を除く。）に基づいて、評価を実施する。

（レベルⅣ→4点、Ⅲ→3点、Ⅱ→2点、Ⅰ→1点とする。）

VI. 表彰

各審査員による審査結果の合計点数の平均得点上位3名以内に、卒業証書・学位記授与式の日に表彰状を授与する。また、表彰状の授与にあわせて記念品（他の学生表彰に合わせ、5千円以内の記念品）を贈呈することができる。同点の場合は、評価においてレベルⅣの数が多い参加者（同数の場合は、レベルⅢ以降の上位レベルの数が多い参加者）を上位とする。

VII. その他

卒業研究コンテスト参加学生の卒業研究発表の動画は、原則として全学生・教職員が閲覧可能な形で Microsoft Stream にアップロードし、公開するものとする。

ただし、発表者本人または指導教員から申し出等があった場合には、審査員及び事務担当者以外には、公開しないこととする。